

会社概要	会社名	(株)小松製作所		
	従業員数	連結 47,017 名 単独 10,449 名 (2016年3月31日現在)	業種	建設機械・鉱山機械の製造

【ねらい】 社員がより働きやすい会社を目指して

1. 働き方・休み方改革

(1) 労使での取り組み

より働きやすい会社の実現に向けて、総実労働時間削減に向けた取組みを労使で継続しています。

① 内容

活動項目		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
総実労働時間	労使目標設定	・総実:2100H/年 →											
	アクションプラン	・年休:15日/年 → 16日/年 → 17日/年 → 18日/年											
年次有給休暇	年次有給休暇	・導入 → ・データベース化											
	年休取得向上に関する施策	・取得要件緩和 ・積立日数増加		・取得要件緩和		・積立枠上限撤廃		・取得要件緩和		・積立年休制度を撤廃し、ライフサポート休暇(※)を新設			
	その他休暇など	・子の看護休暇の取得要件緩和						・勤続年数に応じて付与する連続取得休暇に旅行券を付与			・子の看護/介護/通院休暇の有給化		
	年休付与日数	・出勤日数が少ない社員の付与日数増						・有期契約社員年休付与増/積立年休付与			・入社時20日付与		
※年休用語解説	※積立年休制度…前年度に付与されて未使用であった年休を、通常年休とは別に積み立てる制度。過去は積み立てる際の日数に上限があったり、取得要件が限定的な制度であった。												
時間外労働時間	36協定上限時間引き下げ	→ 月間-5H 月間-5H → 月間-10H →											
	時間外割増率	・年間-60H 年間-60H → 年間-30H → ・休日手当割増率増 → 時間外手当割増率増(60H超)											

② 実績

労使で総実労働時間と年休取得の目標を設定し、定期的に就業管理委員会にてフォローした結果、2015年度は右表のとおり目標を達成しました。

また、2005年度と比較しても、長期的に大きく改善しております。

2016年度は前年度より高い年休取得目標を設定し、労使で達成に向けた取組みを継続しております。

		2005年度実績	2015年度労使目標	2015年度実績	2016年度労使目標
年間総実労働時間		2,229時間	2,100時間未満	1,974時間	2,100時間未満
年間年休取得目標	全体平均取得日数	11.5日	17日以上	18.4日	18日以上(対前年+1日)
	個別最低取得日数	-	14日以上	全員達成	16日以上(対前年+2日)

(2) 関連制度や各部門の具体的な取組み(アクションプラン)

① 関連制度

- ◆フレックス勤務制度(コアタイム有)
- ◆在宅勤務制度(育児・介護に限る)
- ◆育児・介護休業/短時間勤務制度
- ◆ライフサポート休暇制度(年5日付与)  
※私傷病・育児介護・妊娠時等に取得可能な有休
- ◆ボランティア休暇制度 等

② 各部門の具体的な取組み(アクションプラン)

- ※アクションプラン…総実労働時間削減に向けて各部門独自に取り組んでいる具体的な行動指針。
- ◆一斉退社日設定
- ◆年休取得奨励日の設定
- ◆ノー会議デーの設定 等

2. 仕事と介護の両立支援

これまで、介護をしながら働く社員が安心・安全に仕事を続けられるよう、主に休業休暇制度など「生活面の支援」を充実させてきましたが、次の段階として「仕事面の支援」を充実させるべく、①休業者の評価制度改定、②短時間勤務者の所定労働時間に対する不足時間を賞与支給時に欠勤控除しない、③在宅勤務制度導入等、社員がモチベーション高く働き続けられるような施策を実施しています。

◆コマツの介護支援制度(国の制度との比較)

※コマツの制度: 国の制度:

